

目 次

はしがき

序 章 EU 中の権威主義国家・ハンガリー	Ⅰ
本書の目的 ハンガリーと EU オルバン登場とハンガリーの権威主義化	
権威主義化の要因 価値の共同体としての EU 本書の構成	
コラム 若き日のオルバン	5

第Ⅰ部 オルバン政権下のハンガリーと EU 対応の様相

第Ⅰ章 権威主義化するハンガリーと EU の困惑	23
——2010年代半ばまで——	

- 1 EU による対応の手段——基本条約の規程の紹介 23
 予防手続きと権利停止手続き（EU 条約第7条）
 義務不履行手続き（EU 運営条約第258条～第260条） その他の手段
- 2 EU 機関の初動——成果に乏しき船出 29
 オルバン施政の問題性 欧州議会の初動——非拘束的決議による警告
 欧州委員会の初動——義務不履行手続きへの着手
 理事会の初動——欧州委員会への名指しなき要請
- 3 欧州委員会による法の支配枠組みの導入——歓迎と懐疑 34
 法の支配枠組みの概略 欧州委員会の打算としての法の支配枠組み
 理事会と法の支配枠組み

第Ⅱ章 背景としての EU 党派政治	46
——ポーランドとの相違——	

- 1 EU における党派政治の形成 46

- 2 対オーストリア外交制裁と2010年代の EU ——メルリンゲンらの視座 47
外交制裁と党派政治の論理 オーストリアからハンガリー、ポーランドへ
- 3 フィデスと欧州人民党——影響力と擁護 50
EU による対応の停滞 欧州人民党の影響力 欧州人民党幹部の擁護
- 4 ポーランドと EU ——「法と正義」への迅速な初動 54
「法と正義」の再登場 法の支配枠組みの運用から予防手続きの着手へ
ハンガリーとの比較
- 5 ヨーロッパの党派政治とポーランド「法と正義」——加入の帰結 58
欧州保守改革党の加入政党としての「法と正義」 「法と正義」の劣勢

第3章 欧州議会によるハンガリー対応の虚実 67

——2018年9月12日決議を中心に——

- 1 歴史的な決議としての2018年9月12日決議 67
- 2 ハンガリーにおける問題の深刻化——2017年5月決議まで 68
「さあブリュッセルを阻止しよう」 2017年5月決議の採択
- 3 欧州人民党の変化——2018年9月の決議へ 70
痺れを切らす党幹部 採択へのハードル
- 4 規範的な反応？——決議採択の動態 73
欧州人民党ペーバー副党首の野心 国家間対立との連動

第Ⅱ部 オルバン権力とヨーロッパ価値共同体の動揺

第4章 欧州人民党とフィデス 81

——2019年3月の加入資格停止をめぐる——

- 1 EU による対応の停滞と欧州政党 81
- 2 欧州人民党による加入資格停止処分——その概要 82
- 3 処分の含意——除名の是非 84
- 4 フィデス除名への欧州人民党の躊躇——党内力学と寛大さ 87
躊躇の要因 欧州議会同会派におけるフィデスの処遇

5	フィデスの欧州人民党残留——オルバンの感情	90
	選択肢としての残留	
	キリスト教民主主義への固執——相思相愛から共依存へ	
6	欧州人民党の混迷——フィデスの脱退	94
	ハンガリー問題の閉塞 欧州人民党評価委員会の機能麻痺	
第5章	新型コロナウイルス対策とオルバンの権力強化	104
	—— EU の屈辱——	
1	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とハンガリーの政治体制	104
2	ハンガリーのコロナ対策立法——全権委任法の制定	105
	ハンガリーの緊急事態宣言と対策法案の提出	
	ハンガリー議会による対策法の採択	
3	対策立法へのヨーロッパの反応—— EU 内部の温度差	108
	他の加盟国——抑制的な批判 理事会と欧州理事会——ほぼ無反応	
	欧州委員会——期待外れの対応(1) 欧州議会——期待外れの対応(2)	
4	ハンガリー政府の応答と様相——民主体制の解体	113
	対策法制定後のフィデス 危険事態から医療緊急事態へ	
第6章	EU における財政枠組みの成立と法の支配	123
	——対加盟国コンディショナリティの構図——	
1	多年次財政枠組みと法の支配コンディショナリティ	123
2	欧州委員会のコンディショナリティ提案——概要と反響	124
	提案の概要 ハンガリーとポーランドの反対	
3	「次世代の EU」の浮上と代替策の模索——妥協までの経過	127
	欧州議会と理事会の基本合意 代替策の模索	
4	欧州理事会における2020年12月の妥協——割れる評価	131
	妥協の成立と概要 妥協の評価——素晴らしい成果か、余分なものか	
	コンディショナリティ規則への着手をめぐって	

第Ⅲ部 オルバン政権の対外政策

第7章 全方位均衡としての対中国関係…………… 149

——ハンガリーによる「東方開放」の政治力学——

- 1 オルバンの機会主義…………… 149
- 2 EU・中国関係の展開とハンガリー——姿勢の転換…………… 150
- 3 EU・中国間対立とハンガリー——擁護者としてのオルバン…………… 152
- 4 オルバンの動機——何が利益なのか…………… 154
経済の活性化 個人的利益 第三国・中国による均衡

第8章 EUの対ロシア制裁とオルバンの戦略…………… 168

——2022年ウクライナ侵攻後の全方位均衡——

- 1 EUとロシア，そしてハンガリー…………… 168
- 2 EU・ロシア関係の中のオルバン政権——急速な緊密化…………… 169
- 3 ウクライナ侵攻後のハンガリー——親ロシアの軌跡…………… 170
- 4 ベラルーシ化するハンガリー？——EU／NATO脱退の可能性…………… 173
- 5 全方位均衡としての対ロシア関係——オルバン特有の事情…………… 174

終章 EUによる対応の失敗…………… 185

権威主義化を抑止できなかったEU なぜ失敗したのか
栄養剤としてのEU オルバン5選とこれから

巻末資料	197
参考文献	215
初出一覧	240
あとがき	241
人名索引	243
事項索引	245